

2019年4月30日

# 学校評価の結果について

学校法人旭川カトリック学園

旭川聖母幼稚園

## 1. 本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にした教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教員との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育「お祈り」「親切」「がまん」を目指している。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園の教育課程の内容を検討、教職員の共通理解を図り、教育の質を高める。また幼児指導要録の研修、自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、当地域において本園が今後担う役割について検討する。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

全体としての取り組みは、教職員が力を合わせて子どもたち一人一人にしっかりよりそい、明るく元気に毎日を楽しく充実した保育になるように努める。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果          回収総数 66

① 保育のありかた    A（満足）46    B（やや満足）18    C（やや不満足）1    D（不満足）1

縦割り保育を中心に進行したがカリキュラムを計画的に運用することにより横割り保育と共用しながら行事等への対応にも十分な配慮をし柔軟な保育に心がける

② 保育者としての資質    A 44    B 20    C 1    D 1

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼児期の特性をふまえ環境を通して行うことを基本とする。教師は幼児との信頼関係を十分に築き幼児と共により良い環境を創造するよう心がける

③ 保護者への対応及び家庭との連携    A 40    B 21    C 3    D 2

保護者からの連絡や意見などにはできるだけ早急に内容を把握し丁寧な対応を心がけるようにした。また、要望や苦情を検討し納得して頂けるようにつとめ、お子さんの体調の変化など日常の細かな連絡をしっかりとるよう心がける

④ 地域社会との連携      A 41      B 23      C 1      D 1

近隣の小学校との連携、老人ホーム訪問等を積極的に行うことにより近くの人たちとの交流につとめるとともに、六条教会の方との触れ合いを大切にしよう心がける

⑤ 研修と研究      A 46      B 15      C 4      D 1

各種の研修会に参加し、いろいろな保育の実践を学ぶことにより自分が日常関わっている保育の在り方を見直す機会としている。園の中でも各人がそれぞれの工夫で毎日の保育に取り組んでいる姿をお互いが共有することにより資質の向上を図るよう心がける

⑥ 情報公開      A 40      B 20      C 6      D 0

毎月の園だよりや、各学年だより等を発行することにより園の今の状況や行事への準備状況を保護者の皆さんへ伝えるようにする。HP、ブログの更新も積極的に取り組むように心がける

<まとめ> 保護者の皆さまから提出して頂きました評価の結果を数字のみで見ますとA・Bの評価が95%、C・Dの評価が5%ということからおおむね満足して頂けたことに安堵しました。しかし5%が不満足であるという厳しい指摘をしっかりと受け止めて指摘されている内容を分析、検討し改善すべき部分は早急に対応するよう心がけます。

◎意見・要望・質問の多かった項目

① 保育のありかたに関して

○預かりについて  
(6人から)

園児の保護者からの申し込みであればどなたでも利用できます。ただし、長期休業や行事等での特別な場合に限っては、お仕事をされている方が優先され、あらかじめ申し込みを必要とされることもあります。また、急な事態に対しては柔軟に対応しますので遠慮なく園に相談して下さい。預かりを利用される時は別途料金が必要となります。ただし、わずかな時間の延長などで機械的に延長料金を頂くということはないようにします。

② 保育者としての資質に関して

全体的には教職員の頑張りは評価されていますが子どもたちへの対応でやや配慮に欠ける部分があったことは重く受けとめ今後は一人一人に寄り添った保育に心がけます。

### ③ 保護者への対応及び家庭との連携に関して

○幼稚園との連絡	保育中の園児の様子で連絡を必要とする場合は電話や手紙でお知らせするようにしていますが、なにかあればいつでも園へ連絡して頂きたいと思います。 園としては職員も増えているので自分たちで出来ることは保護者の負担を軽減したいとの考えでしたが十分に意図が伝わらないことがありました。今後はお知らせ等で丁寧な対応をします。昨秋頃からバス添乗員さんが乗ることになりましたが各担任からお知らせしなければならぬ情報は伝えるように徹底します。次年度からは自由に撮影して頂きます。
○園の対応（3人から）	
○バスでの対応	
○餅つきでの写真撮影	

### ④ 地域社会との連携に関して

○バザーについて	昨年度は地震の為中止になり代替案としてお買いものごっこを実施しました。今年はバザーを実施します。(9/14 土) 狭い園庭で申し訳ありません。ご指摘の通り小学校のグラウンドを借用するとその他の施設も必要となり人の配置などで学校側に迷惑をかけることがあります。また、物の移動やライン引きなど準備も煩雑になりますので、今年も園庭での実施としたいです。
○運動会の会場について	

### ⑤ 研修と研究について

○子どもとのかかわりを研修しては？	日々の保育を実践する中で個性の違う一人一人の子どもとの関わりをどうするか自分を高める努力をします。 先生各人によって指導方法が異なりますが目標は皆同じであるをご理解下さい。
○先生方の違いを感じる	

### ⑥ 情報公開について

○HP、ブログへの意見 解像度について	園事務局の指導により個人情報保護のため写真等は個人が特定できないよう取扱いに配慮することとなっているため不鮮明になっています。只今解像度を上げることを検討中です。 ブログ、HPの更新に思うように手が回らないのが現状でしたが、今年は担当職員を配置し保護者の皆さまの要望に応えられるようにしたいと思います。
○ブログ、HPの更新について (他にも3人から)	

※他に役員会からの意見・要望もありますので園の考えも合わせて掲載します。

- 保育形態の変更について・・・私たちは今年度最重要課題と受け止めております。「縦割り保育」から「横割り保育」への変更は単に先生方の負担が大きいということではなく子どもたちの毎日の状況をしっかり受け止めた時、いまこの子達にとって一番良い形態は？と考えて踏み切りました。皆が同じカリキュラムの中で同じ作業をこなすことにより指導者としてはよりきめ細かい指導が可能になると思います。その中で、いままで培った「縦割り保育」の良い部分も積極的にとりいれ聖母幼稚園オリジナルの保育を教職員力を合わせて作りあげたいと思います。
- 預かりについて・・・①でも答えましたが、意見が多く寄せられました。園としても皆さんの要望に出来る限り沿うようにと考えておりますが休日などでは預かる子どもたちの人数に対して保育者数を割りふらなければならないという事情も考慮して頂き預かり保育にご協力いただきたいと思ひます。
- 聖劇について・・・構成も新しくなり新鮮で良かった。という声もありましたが衣装合わせ等には母親が行った方がスムーズだったのではないかと意見もあります。これも職員が増えたので自分たちで出来ることは親の手を煩わさないでという思いからなので十分に検討して結論を出したいと思ひます。
- 冬の制服について・・・つなぎのウェアを着にくい状態なので制服は登・降園時は着ないで園に置いておくことは可能か？冬期間の教会への移動の際寒さを防ぐのにジャンパー等を着せられないか？  
→このことについては早急に検討します。
- 園の良さ、特色がなくなってしまうと感じることが多い。  
(どのような時にそう感じられたかについては触れられていません)
- 今年は、年長さんにはピアニカ、縄跳びを継続的に行います。
- 給食の回数を多くして欲しい。→金曜日を「おにぎりの日」とし、おにぎりだけを持参することとし園外保育等にも対応するようにします。

保護者の皆さまへ・・・昨年度は職員数も増えたということで保護者に負担をかけないで実施しようとしたことがかえって保護者の皆さんを遠ざけてしまったように受け取られたかもしれません。今年度は餅つき、聖劇、バザー等行事の際は保護者の方達にもっと関わっていただき園の運営を共に担っているという実感を持って頂きたいと思ひます。